

第 62 回東邦医学会総会プログラム

平成 20 年 11 月 13 日(木) 午後 1 時～5 時 30 分

平成 20 年 11 月 14 日(金) 午後 1 時～3 時 05 分

東邦大学医学部大森臨床講堂(5号館 B1)

11月13日(木)

開会の辞 _____ 東邦大学医学会運営委員長 杉田 稔

当番教室：法医学講座 / 第 1 麻酔科

A. 一般講演

(発表:各 7 分, 質疑応答:各 2 分)

座長:端詰勝敬講師(心身医学)1～3 席 (1:00-1:27)

1. 不安障害にみられる体位性頻脈症候群の特徴について(7分)

山田宇以, 端詰勝敬, 坪井康次(心身)

2. CBM 実習で学外実習後に振り返り学習を行うことの有効性の検証(7分)

松崎淳人, 菊池由宣, 中野弘一 (卒後臨研・生涯教育セン)

3. 統合失調症患者の自殺企図とその予防に関する臨床的研究(7分)

山口大樹(大森精神)

座長:佐藤幸裕教授(佐倉眼科)4～5 席 (1:27-1:45)

4. 実験用サルにおける bevacizumab 内頸動脈注入の眼に対する影響(7分)

金子 卓, 金子明博, 富田剛司 (大橋眼科)

伊藤典彦(横浜市立大学大学院医学研究科視覚病態学), 佐藤幸裕(佐倉眼科)

5. 培養ヒト角膜内皮細胞シートの作成および機能評価(7分)

日谷光一郎(佐倉眼科)

座長:工藤泰一准教授(口腔外科)6～7 席 (1:45-2:03)

6. 2006 年度診療報酬改定以降のリハビリテーション実施状況に関する報告(7分)

大国生幸, 牛込伸行, 内 昌之, 中村綾子, 原田 孝(大森リハ)

丸山 優(大森形成), 勝呂 徹(1 整)

7. ビスフォスフォネート系薬剤に関連した顎骨壊死の4症例(7分)

関谷秀樹, 福井暁子, 渡邊正紘, 原田光佑, 森村 真, 工藤泰一(口外)

馬越俊輔(一般・消外), 鳥畑秀子(1 整)

座長:根本匡章講師(大森脳神経外科)8～10 席 (2:03-2:30)

8. くも膜下出血にて発症した一側内頸動脈欠損症の1例(7分)

羽賀大輔, 近藤康介, 榎田博之, 野口悦孝, 横田京介, 根本匡章,

狩野利之, 後藤昌三, 周郷延雄, 清木義勝(1 脳)

9. 当院における EVAR の早期臨床成績と将来展望(7分)

藤井毅郎, 渡邊善則, 濱田 聡, 益原大志, 寺本慎男,

原 真範, 小澤 司, 小山信彌(大森心血外)

10. *Clostridium difficile* の培養上清に対するヒト免疫グロブリン(IVIg)の効果の検討(7分)

齋藤智明, 長尾二郎(3 外), 館田一博, 山口恵三(微生物・感染)

B. 医学研究科推進研究報告

(発表:各 15 分, 討論含)

座長: 山口恵三教授 (微生物・感染症学) 11 ~ 12 席 (2:30-3:00)

11. 緑膿菌を中心とした病原細菌の多剤耐性化に関する包括的研究 (15 分)

石井良和 (微生物・感染)

12. 線維芽細胞の細胞死誘導による臓器線維化抑制機構の解明 (15 分)

赤坂喜清 (病理)

座長: 垣内史堂教授 (免疫学) 13 ~ 14 席 (3:00-3:30)

13. ケモカイン受容体 CCR7 の動態解析 (15 分)

桑原 卓 (免疫)

14. 新規アポトーシス誘導薬の関節リウマチおよび悪性腫瘍治療への応用研究 (15 分)

川合眞一 (大森膠原病)

C. 特別講演

座長: 土谷一晃准教授 (第 1 整形外科) 15 席 (3:30-4:00)

15. 陳旧性顔面神経麻痺の再建戦略-自然な笑いの再現をめざして- (30 分)

佐倉形成外科学講座教授 林 明照

座長: 白神伸之准教授 (大森放射線医学) 16 席 (4:00-4:30)

16. AIDS・日和見感染の神経放射線診断 (30 分)

佐倉放射線医学研究室教授 寺田一志

シンポジウム (4:30-5:30)

企画: 法医学講座 / 第 1 麻醉科 / 放射線医学 (大森) / 大森心臓血管外科 / 大森呼吸器外科

ここまでできる最新の診断技術

司会: 多湖正夫准教授 (放射線科)

1. 中枢気道狭窄に対する 3D-CT の有用性と問題点 (10 分)

高橋祥司 (呼吸器外科)

2. 3次元再構成画像を用いた消化管病変の CT による診断について (10 分)

白神伸之 (放射線科)

3. 肝臓の超音波診断: 最近の知見 (10 分)

和久井紀貴 (大森消化器内科)

4. 新たなる超音波診断 (10 分)

原田昌彦 (大森臨床生理機能)

ディスカッション (20 分)

11月14日(金)

当番教室：放射線医学(大森) / 大森心臓血管外科 / 大森呼吸器外科

D. 平成19年度プロジェクト研究報告

(発表:各8分,討論各2分)

座長:石川文雄講師(免疫学)1~2席(1:00-1:20)

1. リポソーム表面結合抗原によって誘導される免疫応答の解析(8分)
田中ゆり子(免疫),高島明子(佐倉産婦)
2. 生物学的製剤の薬物動態と患者の個別反応性に関する研究(8分)
西尾信一郎(大森膠原病),監物 靖(1小児)

座長:佐藤二美教授(生体構造学)3~5席(1:20-1:50)

3. 放射線ホルミシス効果の解析(8分)
石川文雄(免疫),斉藤善雄(物理)
4. モルモット聴視床におけるGABA含有細胞とparvalbumin含有神経要素の免疫組織化学的研究(8分)
高柳雅朗(生体構造),澤 佳世(1小児)
5. 前脳基底部コリナージック細胞の制御を受ける帯状皮質インターニューロン(8分)
村上邦夫,木村明彦(生体構造)

座長:山下 茂教授(生化学)6~7席(1:50-2:10)

6. 新規カルシウム結合蛋白質の受精阻害作用のメカニズムの解明(8分)
三輪尚史(細胞生理),片桐由起子(大森産婦)
7. SPB構成因子cdc31pによるDNA複製開始因子cdt1pの制御機構の解析(8分)
中林 修(生化),深谷 暁(佐倉産婦)

座長:田中政信教授(大森産婦人科)8~9席(2:10-2:30)

8. ラットの子宮筋細胞におけるサイトカインとコネキシン43の影響(8分)
林 秀隆(大森産婦),浅川恭行(大橋産婦)
9. 肺高血圧症を合併した特発性肺線維症の臨床病理学的検討(8分)
杉野圭史(大森呼内),嶋田博光(1小児),長谷川千花子(大森病院病理)

E.平成 20 年度東邦医学会賞

選考経過報告(杉田選考委員長)(2:30-2:35)

受賞記念講演

座長:青木和哉講師(脳神経外科学第 2 講座) 10 席(2:35-2:50)

10. Comparison of metastatic brain tumor models using three different methods

: The morphological role of the pia mater (15 分)

脳神経外科第 2 講座 齋藤紀彦

座長:岸田 勝准教授(小児科学第 2 講座) 11 席(2:50-3:05)

11. Serm levels of Th2 chemokines, CCL17, CCL22, and CCL27, were the important

markers of severity in infantile atopic dermatitis (15 分)

小児科学第 2 講座 中里純子

授賞式

閉会の辞 _____ 東邦大学医学会長 黒田 優

-
- 注1) 一般講演, 医学研究科推進研究報告, プロジェクト研究報告の演者の先生は, 必ず総会当日までに「雑誌掲載用講演抄録」(400 字程度)と「*Keywords」(英語 3 語以内)を出力紙とデータ(FD・USB 等)を受付にご提出になるか, e-mail 添付でお送りください(E-mail : igakukai@med.toho-u.ac.jp)。* Keywords は東邦医学会雑誌総索引に掲載されますので, 適切な用語を選んで下さい。
- 2) 企画講演の先生は, 総会当日より 4 週間以内に 3200 字程度に総説としてまとめて提出してください。
- 3) 特別講演の先生は, 総会当日より 4 週間以内に 4000 字程度にご講演内容をまとめて提出してください。
- 4) 東邦医学会賞受賞者の先生は, 総会当日より 4 週間以内に 2000 字程度に用紙をまとめて提出してください

注:1) ~ 4)とも東邦医学会雑誌近刊号に掲載の予定です。2, 3, 4 につきましては, 詳細を受付におたずねください。